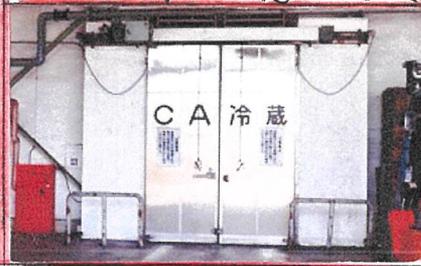


1. 福島県
  2. 山形県
  3. 青森県
- 何県でしょう。

**りんごの歴史**  
 紀元前6000年頃にはエジプトで栽培されていたとされています。紀元前3000年にはギリシャで栽培され、その後地中海沿岸に広がりました。日本では明治時代にアメリカから導入された品種が主流となり、戦後には品種改良が進み、現在では多種多様な品種が栽培されています。

**日本で多く生産されているりんごの品種は？**  
 現在国内で最も多く生産されている品種は「ふじ」です。これは1937年に青森県で発見された品種で、現在では全国のりんご生産量の約50%を占めています。他にも「あきつほ」「つがる」「つがるの女王」などの品種も広く栽培されています。

**りんごの概要**  
 りんごは、秋に収穫される果物です。果皮は赤や黄緑色、果肉は白く多汁で、甘酸っぱい味があります。りんごは、ビタミンCや食物繊維が豊富に含まれており、健康に良い果物として知られています。また、りんごは、家庭で保存しやすいため、冬に楽しむことができます。

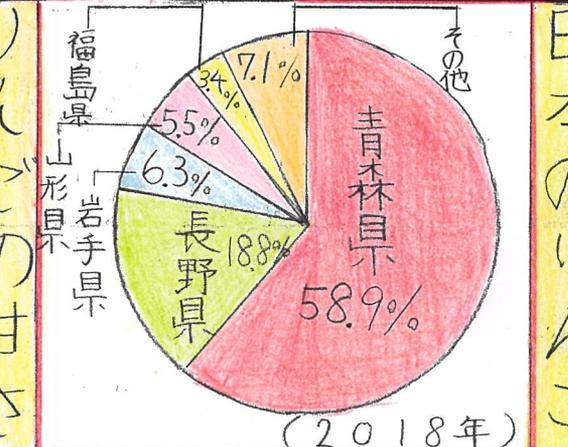
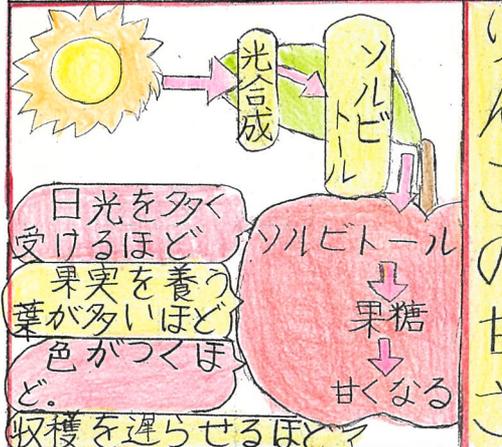


**りんごの歴史**  
 りんごの歴史は古く、紀元前6000年頃にはエジプトで栽培されていたとされています。紀元前3000年にはギリシャで栽培され、その後地中海沿岸に広がりました。日本では明治時代にアメリカから導入された品種が主流となり、戦後には品種改良が進み、現在では多種多様な品種が栽培されています。

**健康でおいしいりんご**

# りんご新聞

発行 者  
 横代 小学校  
 5年3組 華 菜



**りんごはなぜ赤いの？**  
 りんごの赤い色は、アントシアニンという色素によるものです。この色素は、りんごの果皮に多く含まれており、りんごを赤く染めます。また、りんごの赤い色は、りんごの成熟度を表す指標の一つです。赤いりんごは、一般的に甘く、多汁で、美味しく食べられます。

**りんごの甘さ**  
 りんごの甘さは、主に果糖とブドウ糖によるものです。果糖は、りんごの甘みの主成分であり、ブドウ糖は、りんごの甘みの補助成分です。また、りんごの甘さは、りんごの品種や栽培環境によって異なります。

**日本のりんごの生産量**  
 日本のりんごの生産量は、年々増加傾向にあります。これは、品種改良の進歩や栽培技術の向上によるものです。また、りんごは、健康に良い果物として知られており、国内外で人気があります。

**りんごの栽培**  
 りんごの栽培には、適切な品種の選定、適切な時期の植え付け、適切な水やりと肥料の与え、適切な剪定などが重要です。また、りんごの栽培には、病気や害虫の予防も必要です。りんごの栽培は、手間がかかる作業ですが、収穫したときの喜びは、それ以上の価値があります。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
整枝・せん定									収穫		
			粗皮けずり	摘らい	摘花			葉つまわし		土の改良	
				受粉						園内そうじ	
						除草					肥料をやる
											肥料をやる

りんごづくりの一年